

“ おもしろくて ためになる 学びの共有 ”

わかちあい

秋田県教育カウンセラー協会機関誌

教育カウンセラー



あきた

11号

2006年(平成18年)7月1日発行

## 国語力を高めさせたい

秋田県教育カウンセラー協会

代表 水戸谷貞夫

多くの方々に読まれるベストセラーの一冊に、藤原正彦氏の「国家の品格」(注1)がある。昨年6月、たまたま「日本のこれからを考える」と題するご講演を聴取する機会に恵まれた。お茶の水女子大学理学部で数学がご専門とうかがっていたのに、「国語はすべての知的活動である。」というお考えを展開されたのには驚かされた。情報を伝達するうえでは、読む、話す、聞く、が最も重要であること、国語が思考そのものと深くかかわっていることを力説されたのであった。(注2)

「国語に関する世論調査」(注3)によれば、国語への意識では、「大切にしていると思う」が33.7%、「余り意識したことがないが、考えてみれば大切にしていると思う」が35.4%で、両者を合計すれば9割近い数値になるが、実際にはどうなっているかがよくわからない。国語に関する能力向上のための方

策をみると、個人では、「もっと読書に親しむようにする」が67.6%で最も多く、国・自治体では、「学校教育で、国語教育の充実を図る」が61.5%、「学校全体が児童・生徒にとって良い言語環境になるようにする」が47.6%で第2位で、学校教育への期待が大きいことがよくわかるが、家庭教育が基本でないかとも考えている。

これを受け入れたものに「PISA調査(読解力)(注4)」があり、それを踏まえた指導の改善が、昨年12月に公表されている。そのなかの児童、生徒の学習意欲をみると、「勉強は大切だ」について、「そう思う」の回答割合は、小5が60.6%、小6が45.1%、中1が48.1%、中2が45.1%、中3が45.2%となっており、学年が進むにつれて低くなっている。(前回の調査よりはいずれも少しは上昇していた。)

\* \* \*

(注1)「国家の品格」 藤原正彦著 新潮新書

(注2)「祖国とは国語」 藤原正彦著 新潮文庫

(注3)日本人の言語能力を考える

文化庁文化部国語課

(注4)読解力向上に関する指導資料 文部科学省

## 「岩手の養成講座に参加して」

仙北市立生保内小学校教諭 齊藤 智恵子

ゴールデンウィーク真っ盛りの5月3～5日の3日間、岩手の養成講座に参加してきました。初日は石隈利紀先生・家近早苗先生による「チーム援助」に関する講義、2日目は河村茂雄先生による「Q-U」と「特別支援教育」に関する講義、3日目は品田笑子先生による「教師のメンタルヘルス」と長須正明先生による「キャリア教育」に関する講義でした。

3日間を通して感じたことは、教師同士や教育に携わるいろいろな職種の人々をつなぐ力（チーム力）を高める必要性のある時代なのだなあ、ということです。

特別支援教育をはじめとして、学級経営も教師を取り巻く環境も課題が山積みです。そんな中で、教師が生き生きと教育活動に取り組むには、講演会等で見識を深めつつ、ヒューマン・ネットワークを広げ、互いに連携しあっていくことが大切なのだなあと思いました。

## 「岩手養成講座での一筋の光明」

潟上市立天王小学校教諭 伊藤 忠宏

教諭になってから初の普通学級低学年（2年生）の担任となり、小学生の間に人間はものすごく成長するということを実感しながら日々を過ごしている時に河村先生の講座を受講しました。

担任教師の支援のあり方を、個別支援と一斉指導のバランスから考えられていたことが大変参考になりました。人にも優しく自分にも優しい私は、いったん支援についてしまうとできるまで離れられなくなりがちで、他の児童が暇をもてあましてしまうという状況に陥りがちでした。学級の児童一人一人の状況を把握し、適切な支援を考えることで授業の構成が一筋の光とともに見えてきました。

他にも楽しくためになる内容は盛りだくさんでしたが、紙面の都合で載せることはできませんでした。秋に行われる養成講座に河村先生が講師としていらしてくださいますので、ぜひ参加されることをお勧めし、筆を置きたいと思います。

### ご 案 内

#### 第4回 日本教育カウンセリング学会 研究発表大会

平成18年11月18日（土）～19日（日）

大会テーマ： 「教師を支える教育カウンセリング」

会 場： 東京学芸大学小金井キャンパス

期 日： 11月18日（土）13:00～18:00 11月19日（日）10:30～15:30

費 用： 会員 6000円 非会員 5000円

#### 主な内容

- ・記念講演 演題「カウンセリングを通しての教師支援（仮題）」  
講師：三楽病院・精神神経科部長 中島 一憲先生
- ・シンポジウム 「教師を支える教育カウンセリング」 他

『絆と心を育てる生徒指導 - 非行・問題行動への対応 -』 講師：朝倉一隆先生

- ❖ 感動的な事例とともに、話に引き込まれました。経験からくる迫力のある内容と、先生のお人柄がにじみ出ている講演会で、非常に満足、充実した気持ちです。
- ❖ 生徒指導の人間観「一人一人の生徒は、かけがえのない人間である」が根底にあってこそ、子どもの心を育てる指導ができるのだということ、また、かけがえのない存在であるということ、教師の姿勢で感じとらせていくことが大事であるということなど胸にしみました。明日からの教育活動に生かしていきたいと思えます。
- ❖ 教育や教育カウンセリングとはどういうことか、朝倉先生が現実に先生として存在していらっしゃるのだということに勇気づけられました。先生のお話を聞き、現場の子ども達に思いをめぐらしておられる会場の先生達の言葉も身にしました。勇気ある先生達がいらっしゃるということ、肌身で感じとった3時間でした。私は子育て支援などに少しかかわっていますが、今日のお話は生きる糧になります。
- ❖ 気迫あふれる講演でした。「自分なりの指導でなければいけない」という言葉から、自分はどのようにいけばよいのか、考えるキッカケをいただきました。
- ❖ 生徒指導という言葉からは、どうしても問題行動への指導だけが思われがちですが、今日お話をお聞きして、ぜひたくさん先生達に聞いていただきたい内容だと思いました。一歩踏みこむ教師が少ないような気がします。不登校の要因にいじめもみられたりしている現実もあり、今日聞いた話を伝えたいと思いました。
- ❖ 朝倉先生の熱い語りにも何度も涙がこぼれそうになりました。すごい実践ですね。本気で、子どもに向かう！！そんな教師を目指したいと思えます。
- ❖ 朝倉先生に講師を依頼してくださり、ありがとうございました。また機会があったら話を聞きたいと思いました。

養成講座 講師紹介

2006年教育カウンセラー養成講座 秋田会場

期日：10月7日(土)・8日(日)・9日(月)

会場：千秋会館



10月7日(土)

「論理療法の実践」 鈴木 由美先生(聖徳大学助教授)

筑波大学大学院修了。修士(カウンセリング)。上級教育カウンセラー、学校心理士、臨床心理士。主な著書に、「論理療法の理論と実践」(共著、誠信書房)、「教育カウンセラー標準テキスト中級編」、「エンカウンター スキルアップ」(共著、図書文化社)他。2001年日本カウンセリング学会大会発表継続賞受賞。主な論文に、「論理療法と学生相談 ヘルプシートによるイラショナルビリーフの変容について」、「大学生におけるコラージュが及ぼす心理効果の研究」他。

「発達理論・発展」 新井邦二先生(筑波大学教授)

教育学博士。日本教育心理学会理事長、学校心理士機構理事長、NPO 日本教育カウンセラー協会常任理事。主な著書に、「図でわかる学習と発達の心理学」、「図でわかる発達心理学」、「事例 発達臨床心理学事典」(以上、福村出版)、「学校心理士と学校心理学」(北大路書房)、「教室における動機づけの理論と実践」(金子書房)、他多数。主な論文に、「小学生の自己決定経験の調査」、「中学・高校生の自己決定の調査」、「自己決定の発達と学習意欲との関係」(以上、筑波大学心理学研究)。

**10月8日(日)**

**「Q Uを用いた授業スキル」 粕谷 貴志先生(都留文科大学講師)**

愛知県出身。岩手大学大学院修了。日本教育心理学会理事，上級教育カウンセラー，学校心理士。現在は都留文科大学の河村茂雄教授のもとで，Q Uを使った学級集団の理解と集団育成の研究を進めながら，大学の地域交流研究センター教育相談部のスタッフとして，学校現場の教師サポートに取り組んでいる。主な著書に，「授業スキル」「学級タイプ別繰り返し学習のアイデア」「Q - Uを使った学級経営スーパーバイズ・ガイド」(共編著，図書文化社)他。

**藤村 一夫先生(上級教育カウンセラー)**

盛岡市立見前小学校教諭。NPO 日本教育カウンセラー協会認定学級経営スーパーバイザー，上級教育カウンセラー，学校心理士。岩手大学大学院教育研究科修了。河村茂雄に師事し，学級崩壊・不登校などを予防する学級経営を研究している。大学時代体育科で鍛えたタフなからだで広い岩手を駆けずり回り，学級経営のスーパーバイズや構成的グループエンカウンター，児童理解について講師をしている。2003年日本カウンセリング学会学校カウンセリング松原記念賞受賞。

**「教室で行う特別支援教育」 河村 茂雄先生(都留文科大学大学院教授)**

博士(心理学)。日本カウンセリング学会常任理事，日本教育心理学会理事。論理療法，構成的グループエンカウンター，ソーシャルスキルトレーニング，教師のリーダーシップと学級経営について研究を続ける。とくに，児童生徒の心理社会的発達支援の重要な領域を担う学級経営の中に，教師の高い専門性が求められ，その専門性の認識と絶え間ない研鑽に裏打ちされた力量の高さが，教育の専門家として，教師が自他ともに認められる道だと信ずる。主な著書に，「学級担任の特別支援教育」(図書文化社)，「教師力」「教師のためのソーシャル・スキル」(誠信書房)，他多数。

**10月9日(月)**

**「メンタルヘルス・マネジメント」 山本 晴義先生(横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長)**

医学博士，日本医師会認定産業医，日本体育協会公認スポーツドクター，産業カウンセラー。主な著書に，「こころとからだを休ませよう 自律神経失調症」(永岡書店)，「メンタルヘルス・マネジメント - 自分も会社も元気にする」(PHP 研究所)，「ストレス一日決算主義」(NHK 出版)，他多数。CD『予防のための音楽「うつ」』(監修，DELLA)。毎月10回にものぼる講演を飄々とこなし，100キロウルトラマラソンに出場するなど「走る心療内科医」と呼ばれる。

**「カウンセラーと学ぶ学習の心理学」 河野 義章先生(東京学芸大学教授)**

東京学芸大学大学院修了後，公立小学校教諭として5年間勤務。障害児学級を担当。福島大学教育学部で，教育心理学，学習心理学，教育工学等を担当。1990年より現職。博士(心理学)。NPO 日本教育カウンセラー協会常任理事。主な著書に，「教育心理学・新版 - 教職を目指す人への入門書 - 」(川島書店)，「授業の心理学」(共訳，同文書院)，「教室における非言語的コミュニケーション」(共訳，学芸図書)，「授業デザインの最前線 - 理論と実践をつなぐ知のコラボレーション」(分担執筆，北大路書房)他多数。

2007年度総会・2007教育カウンセリング公開講演会

期日：2007年7月7日(土)予定

総会 13:00～13:30

講演会 13:40～16:40

会場：千秋会館

講演テーマ・講師

**「キャリア教育」 講師：三村 隆男先生(上越教育大学助教授)**

日本進路指導学会常任理事・研究推進委員長，学会認定キャリア・カウンセラー。埼玉県立高校教員を24年間勤め，進路指導を中心とした「在り方生き方教育」を推進し，多くの実績論文を発表してきた。現在は，キャリア教育を進める一方，静岡県沼津市立原東小学校のキャリア教育立ち上げの支援，埼玉県高等学校進路指導研究会の役員としてキャリア学習研修に携わるなど，キャリア教育実践に取り組む。主な著書に，「キャリア教育入門」「図解 はじめる小学校キャリア教育」(実業之日本社)，「小学校・キャリア教育のカリキュラムと展開案」(明治図書)他。



**編・集・後・記**

おもしろくてためになる学びの場がますます充実の一年。共に学び合いましょう！(N)